

# 人間じんかんにう生まれて

“つながりを生きよう” 327

## 「現世利益」とは

教えを信じて修行や供養の善行を行った結果、この世で受ける利益・恵み・しあわせを指します。

何か取引をしているようです。何一つ心から信じていること、最後まで修行すること、すべてを布施供養することのできなない私たちには、現世において何ら得るものがありません。

「南無阿弥陀仏」は、信じていること、修行すること供養できない者にとっても、すでにいただいている利益だと思えます。

山本さんの法話を聞いて

真敬寺報恩講は、九月二十

九日から皆さん(役員や地区の係のみなさん、お手伝いに来て下さったご門徒さんやご近所さんなど)のご協力をいただき、十月十六日に無事お迎えすることができました。十七日の満座法要を無事お勤めすることができたこと、ほんとうにありがとうございます。また、遠近からのお参りに感謝しております。

報恩講の準備中、私自身は

参詣の大きさ・荘厳などの形ばかりが気になり、はたして自分自身が鸞聖人に出会い、私に届けてくださった南無阿弥陀仏のお念仏を申す身になるだろうかと我が身を振り返ることがありました。法要中の表白や、法話をお聞きして念仏に理解を深めることができるだろうかと自問することも、よくありました。

報恩講が終わり、録画したビデオを編集しながら、もう少しこうすれば良かった、講師はこうい

## 11月真敬寺行事予定

- |         |         |       |            |
|---------|---------|-------|------------|
| 10日(日)  | 日曜学校    | 午前9時  | こども報恩講     |
| 11日(月)  | 正信偈の会   | 午後1時半 |            |
| 16日(土)  | 冬支度     | 午後1時  | 雪囲い 落ち葉掃除  |
| 17日(日)  | 定例聞法会   | 午前午後  | 講師 石川正穂 さん |
| 27日~28日 | 本山御正忌参拜 |       |            |

うことが言いたかったのかと現在も振り返っています。毎年お迎えしている報恩講ですが、念仏の声の大きさと回数が以前より増えたように思います。今は、まだまだご門徒さんの報恩講が続いています、皆さんとの出会い、親鸞聖人との出会いを大事にして二度とない時間を大切に生きたいと思います。よろしくお願い致します。

## 報恩講法話の聞書

## 『難』を生きる

## ― 災難・困難・苦難

## 生きづらい世にあつて―

山本龍昇さん

石川県大聖寺 上宮寺住職



地震から始まった今年です。

親鸞聖人や蓮如上人の時代にも大変な地震や災害がありました。

蓮如上人がまだ京都におられた四七歳の時、一四七一(寛正二年)、大飢饉があつたそうです、鴨川に八万

二千人の餓死者の遺体が捨てられたと記録されているそうです。

その年に蓮如上人が初めて『御文』(筆始の御文)を書かれたそうです。親鸞聖人の二〇〇回忌の年でもあつたのですが、蓮如上人は沢山の人が飢え苦しんでおられる惨状を目の当たりにされ、『御文』を書き始められたのです。つまり、こういう時こそお念仏のお心をきちんと受けとめなければならぬとの思いから書かれたのではないかと思えます。

その中に

たとひ名号を称うるとも

仏たすけたまえと

思ふべからず

との文言があります。「南無阿弥陀仏」の名号を称えて、仏さま助けてくださいと思つてはならない。つま

り「南無阿弥陀仏」を称えることは仏さまに助けてもらうために称えることではないと言われるのです。大惨事の中にもかかわらずこういう『御文』があるのですね。ということとは、「南無阿弥陀仏」のお心は現世利益を求めるものではないという事です。

たとえば、壺を買ったら病が治るとか、こういうことをすればお金が貯まるとか、そういう目先の現世利益を求める宗教では無い。「南無阿弥陀仏」の名号は何かをかなえるための手段ではないのです。念仏を称えて病気が治った人はいいますか？風邪やコロナが治りましたか？だいたい病気を治すのに「南無阿弥陀仏」と称えることはないでしょ。お医者さんに行くか薬局の薬を飲んでみます。

現世利益とは藁を掴むようなものだ、それに対して後生を願うものは稲を獲るようなものだといわれてきました。稲と藁の違いですが世の中の現世利益は何の役にも立たないということです。

念仏の教えは、「後生は稲を獲るが如し」。蓮如上人は現世の利益を求めるものと後生の利益を得るものの違いをおっしゃっておられるのです。

地震も怖かったです、他にも怖いものがあります、「それは何ですか(会場から)」「怖いのは何をしでかすかわからない自分じゃないですか?」

今年の能登の地震で加賀市に避難されてこられた百歳の女性の方が私の妻の勤めているクリニックに

来られて開口一番何とおっしゃられたかわかりますか?「なんまんだぶつ」ではありません。「殺してくれ」とおっしゃられたのです。人生百年、生きてこられて、奥能登に生まれて奥能登で最期を迎えるはずやっただしょう。その奥能登が地震にあって加賀市に避難されて開口一番「殺してくれ」なのです。ですが、本心は違うと思います。「助けてくれ」やと思います。私は絶対「助けてくれ」だと思います。

でも皆さんご安心ください。今、その方はニコニコ顔でお過ごしです。避難された所で介護の方や先生や友だちができて、笑顔を取り戻してこられたのです。良かったなあと思います。となると人間の喜びは何なのでよう。「殺してくれ」と言っていたものが、ニコニコ顔になるそ

の転機は何なのでしょうか?。それはつながりだと思えます。本当の人間と人間とのつながりだったと思います。

人間は他人を差別もします。差別するという動詞に対して反対語は何でしょう? 平等は名詞です。動詞では敬いです。尊敬です。うやまうことです。ここは真敬寺、しかも真実(ほんとう)に敬うです。今の社会ではほんとうに人を敬う「いのち」を尊ぶことがないがしろにされていると思います。先日イギリスでは「安楽死法案」が提出されたそうです、オランダ、ベルギー、カナダ・スイスなどではすでに認められているそうです。どうします? 自分で死ぬ日を決めるそうです。

高齢者が尊敬されない時代です。疎まれている。長生きしたくなくな

ります。安樂死は自殺だと思いません。真宗の教えに背くことだと思いません。殺生はいかんからです。

必ず死ななければならぬ事実と向き合って、現世利益を求めている。何にもならないのですがそのありさまを問うてくるのが浄土真宗です。だから蓮如上人は寛正の大飢饉の中で「たとひ名号を称うとも、仏たすけたまえと思うべからず」とおっしゃられたのではないかと思います。

実際のお話は  
YouTube で  
視聴できます

下の QR コーを  
お読みください



11月の定例聞法会は

17日(木)

午前9時30分～午後1時30分

法話 石川 正穂 氏

(富山市水橋 玉永寺住職)

富山教区教化委員長)

磨きものにはたくさんの人に来ていただき、にぎやかに準備をすることができました。報恩講にも多くのご参詣をいただき、嬉しく感じています。

先日の日曜学校でも「報恩講」の話をしました。報恩講は親鸞さまにありますがとうとう行事だよという説明の後、2本のDVDを見ました。どちらも10分程度の短いストーリーです。

「あした、ハッピーになあれ」は、仏さまにお参りするのをお願いをかなえてもらうためではないというお話です。「事件発生！集団下校」は、誰でもよい心も悪い心も持つており、そんな私を仏さまは救ってくれさるというお話です。今回の報恩講でお聞きしたお話と同じテーマを子供たちと一緒に味わうことができました。

小さな聞法の仲間と過ごすのは毎月の楽しみです。

南無阿弥陀仏

(坊守より)

発行 〒939-1664富山県南砺市竹内440  
真宗大谷派(東) 小塚山真敬寺 宮地修  
0763-52-0196 携帯電話090-3760-5692



shinnkyouji.com

検索

